「Creative飛鳥・未来への風プロジェクト」2018年度 実施報告書

発　行　日：2019年3月
編集・制作：株式会社 企画・創
写 真 撮 影：三國 賢一
発　　行：「Creative飛鳥・未来への風」実行委員会
〒634−0141 奈良県高市郡明日香村川原91−1（明日香村教育委員会内）
TEL：0744−54−3636　FAX：0744−54−4647

クリエイティブ飛鳥 未来への風プロジェクト　2018年度 実施報告書

クリエイティブ飛鳥
未来への風プロジェクト
Creative asuka. “KAZE” project to the future

2018年度 実施報告書





















Creative飛鳥・未来への風プロジェクト

第5回「明日香の匠展」と「飛鳥・音の風景」に寄せて

古都・飛鳥京を擁した明日香村から現代の芸術文化を発信しようと、2019年の新春の候に音楽会と美術展が相次いで開催された。

第5回目となる「飛鳥・音の風景」が1月20日に明日香村中央公民館で開演、実行委員の松岡剛宏氏の企画で、ジャズ演奏が取り上げられ「楽器の素晴らしさと生演奏の迫力に触れていただこう」と、その熱演ぶりで来場者を魅了した。

第5回「明日香の匠展」は、2月23日～3月3日まで奈良県立万葉文化館で開催。公募展に応募された明日香村にゆかりのある作家37名が選出された。明日香の風土の中で創作されたさまざまなジャンルでのものづくり作品の出展で、明日香の匠展としての特徴ある展覧会となる。

また、特別出品として2017年度の「飛鳥アートヴィレッジ」に関わった若手アーティスト、藤野裕美子（滋賀県）、町田藻映子（愛知県）、山本紗佑里（三重県）の三氏による作品が発表された。

明日香村を体感し、その体験を通して村内で作品発表をしていただくとした企画で、全国から公募し選抜されたアーティストによる意欲的な作品の出展であり、会場が一層華やいだ。

明日香村の自然の中で、ものづくりをする作家と外からの視点で明日香の風土を表現する若いアーティストによるコラボレーションは興味深いものとして、村外の鑑賞者にも注目されている。

こうした多彩な作品による展示の難しさに工夫を凝らすアートディレクター山中俊広氏の協力に敬意を表したい。明日香村からの芸術文化の発信に、素晴らしい展示会場を提供いただいた奈良県立万葉文化館のご好意と、多くの関係者のご協力に感謝申し上げます。

2019年3月

「Creative飛鳥・未来への風」実行委員会

実行委員長　鳥頭尾　精

2018年度 事業概要

■コンセプト

明日香村の“プリミティブな魅力”。それは、日本創成の地として、あらゆるモノやコトを産み出す創造性あふれるエネルギーが、今もこの地に眠っていることである。営々と受け継がれてきた“大らかな風土”と“しなやかな精神性”は、日本の明るい未来を築いてゆく上で大いに有効性を発揮するものと期待される。

そこで、明日香村の地場から発せられるこの潜在的なエネルギーを表す言葉「クリエイティブ（創造性あふれる）」をキーワードに、

（1）日本における明日香村の果たすべき（他の地域にはできない）役割を明確にし、

（2）明日香村から全国さらには世界へと情報発信機能を高め、

（3）次世代の日本を担う有能な人材の育成に寄与しながら、

（4）未来志向型の村づくりを実現するために、

長期的視野に立って「Creative飛鳥・未来への風プロジェクト」を推進するものとする。

■事業目標

「明日香村歴史文化基本構想」に謳われる「明日香村の歴史文化が有するポテンシャル」に着目しながら、村にゆかりのある作家および音楽家に光を当てた事業を実施し、クリエイティブ村としての機運の醸成を目指す。

■実施体制

主催：「Creative飛鳥・未来への風」実行委員会

後援：明日香村、一般財団法人明日香村地域振興公社、公益財団法人古都飛鳥保存財団、国土交通省近畿地方整備局国営飛鳥歴史公園事務所

■実行委員会について

・構成メンバー

実行委員長	烏頭尾　精（日本画家・京都教育大学名誉教授）
副実行委員長	脇田　宗孝（陶芸家・奈良教育大学名誉教授）
実行委員	阪本　　薫（明日香村文化協会会長）
実行委員	松岡　剛宏（バリトン歌手・明日香村社会教育委員）
実行委員	西川　逸人（奈良県立万葉文化館副館長）
実行委員	田中　祐二（明日香村教育委員会教育長）

・事務局／明日香村教育委員会内（〒634-0141奈良県高市郡明日香村川原91−1）

・実行委員会の開催

第1回実行委員会

2018年5月29日（火）15：00～ 中央公民館２階研修室

「明日香の匠」展 鑑査会

2018年9月4日（火）9：30～ 中央公民館１階会議室

「明日香の匠」展 展示プラン打ち合わせ

2019年1月11日（金）15：00～ 南都明日香ふれあいセンター犬養万葉記念館

■実施概要

Ⅰ）第5回「飛鳥・音の風景」

日時：2019年1月20日（日）　14：00~［開場13：00~］

会場：明日香村中央公民館 1階ホール（奈良県高市郡明日香村川原91-1）

目的：明日香村在住の音楽家がプロデュースする音楽事業を通して、村民に楽器の素晴らしさと生演奏の迫力に触れる機会を提供する。

内容：ビッグバンドによるジャズ演奏

出演：竹中　真（ピアニスト・作曲家）
ビッグバンドGYAO

プロデュース：松岡 剛宏（バリトン歌手・大阪音楽大学演奏員）

音響・照明：森田 昌志

入場料：無料

入場者数：210名

Ⅱ）第5回「明日香の匠」展

期間：2019年2月23日（土）～3月3日（日）※但し、25日（月）は休館
10：00~17：30（受付／17：00まで）

会場：奈良県立万葉文化館 1階 企画展示室（奈良県高市郡明日香村飛鳥10）

内容：明日香村を拠点に活動する作家36名（公募により選考）と特別出品作家3名による作品展を開催。

特別出品作家：藤野　裕美子　（2017年度 飛鳥アートヴィレッジ参加アーティスト）
町田　藻映子　（2017年度 飛鳥アートヴィレッジ参加アーティスト）
山本　紗佑里　（2017年度 飛鳥アートヴィレッジ参加アーティスト）

出品作家：烏頭尾 精（日本画）、烏頭尾 忠子（日本画）、東 紀子（日本画）、生駒 三恵（洋画）、勝川 喜昭（洋画）、勝川 京子（洋画）、川本 惠（洋画）、橘 忍（洋画）、上田 孝文（木版画）、渡会 美枝子（詩書画）、木野村 由比子（陶芸）、鈴木 乃り子（陶芸）、タナカ シゲオ（陶芸）、谷口 美佐子（陶芸）、脇田 宗孝（陶芸）、小田 珠生（ガラス造形）、 髙橋 直樹（ガラス造形）、安田 麻里（ガラス造形）、島田 清（面彫）、折坂 諭（ギター製作）、熊田 悠夢（彫刻）、上田 由美子（写真）、上山 好庸（写真）、梅田 耕吉（写真）、岡本 路子（写真）、島田 真希（写真）、白水 泉（写真）、森本 富雄（写真）、柳 敏明（写真）、稲垣 小燕（書芸）、境山 正甫（書芸）、鈴木 鼓光（書芸）、中井 功子（書芸）、中川 愛子（紙画）、森脇 新一郎（切り絵）、島田壽子（パッチワークキルト）

展示・構成：山中 俊広（インディペンデント・キュレーター）

入場料：無料

入場者数：2,023名

「明日香の匠」展

奈良県立万葉文化館 1F 企画展示室











2019.2.23 [SAT] -3.3 [SUN]



過日の同居



素材:岩絵具、水干絵具、顔料、麻紙、木製パネル、木製枠組

空き家の中に身を置くと、そこにある全てから人が暮らしていたという存在感に包まれる。
日光や風雨、草木などの自然は、それらを時間をかけて風化させていた。
人の手を離れた家屋は、迫る自然と同居しながら過去と現在を繋いでいるように感じた。

特別出品作家

飛鳥アートヴィレッジ 2017年度参加アーティスト

藤野 裕美子

FUJINO Yumiko

profile

1988　滋賀県生まれ
2011　京都精華大学 芸術学部造形学科 日本画専攻 卒業
2013　京都精華大学大学院 芸術研究科 修士課程日本画専攻 修了

〈 主な展覧会歴 〉

2010　「第28回上野の森美術館大賞展」上野の森美術館（東京）['10〜'12年 入選]
2012　「平成24年度 平和堂財団新進芸術家助成」 芸術奨励賞
　　フランス、ブルターニュ地方にてアーティスト・イン・レジデンスに参加
2013　個展「肩の情」中之島デザインミュージアム de sign de ＞（大阪）
　　「瀬戸内国際芸術祭 2013 高見島プロジェクト」高見島・中塚邸（香川）
2015　「Itinérances Rétrospective «l'Art dans les Cités»」
　　Le centre d'art Les 3 CHA（フランス）
　　個展「背面の景色」尾賀商店 倉庫（滋賀）
2018　「湖南省友好提携35周年芸術交流展」簡牘美術館（中国湖南省長沙市）



左から《 嵐のあと 》、《 趨勢 》

洋画

川本　惠

KAWAMOTO Megumi

1938年奈良県大和高田市生まれ。1961年奈良学芸大学芸術科（現:奈良教育大学）卒業。以後1992年まで葛城市白鳳中学校に勤務し、退職。1960年高田洋画会賞。1962年県展入賞、高田市美術展市展賞、研水会展入選。退職後、奈良県美育懇話会に参加し、作品展に出品。

洋画

橘　忍

TACHIBANA Shinobu

1975年島根県生まれ。2009年より明日香村在住。学生時代より油絵を始める。1999年、2000年昭和美術会展、2001年伊吹を描く展覧会、2009年飛鳥スケッチコンクール入選。毎年、グループ展を開催。

左から《 花桃 》、《 5月 》



木版画

上田　孝文

UEDA Takafumi

1948年奈良県下市町生まれ。1980年より明日香村在住。2008年学校教員を退職し、版画家・清田雄司氏に師事し、創作活動を始める。奈良県美術展覧会や奈良県高齢者展、教職員展等に出展し入選・入賞する。現在、各地に赴いて写生をしたり、物を見つめて描いたりすることを楽しみに木版画を制作。

左から《 麦畑 》、《 橘寺 》





左から《 記憶 》、《 よみがえり 》

詩書画

渡会　美枝子

WATARAI Mieko

1969年東京都生まれ。2013年より明日香村在住。1987年ロンドン大学英文学コース修学。帰国後筆墨の手ほどきを岡田紀子氏に、書画を絵手紙創始者小池邦夫氏、恭子氏に師事。2004年、2011年熊谷守一美術館ギャラリー「詩書画展」発表。2012年広島三越で個展。2014年、2016年近鉄上本町店他、個展開催。



左から《 唐草縄文扁壺 》、《 縄文土偶 》

陶芸

木野村　由比子

KINOMURA Yuiko

1946年愛媛県新居浜市生まれ。北葛城郡河合町在住。1984年より脇田宗孝氏に陶芸を学び、1997年自宅に「炫窯」を築窯。奈良県美術展覧会工芸の部、彫刻の部に出品を重ねる。2013年スペース・パナクティ（平群町）にて個展を開催。



《 繊部四方唐草文組皿 》

陶芸

鈴木　乃り子

SUZUKI Noriko

東京都生まれ。北葛城群河合町在住。脇田宗孝氏に師事。2005年より毎年、奈良県美術展覧会に出品し、2010年、2011年県展賞受賞、2012年～招待出品。2006年明日香村文化協会入会。2010年明日香村美術展出品、明日香村古代ガラス復元活動に参加。



《 白瓷月壺 》

陶芸

タナカ シゲオ

TANAKA Shigeo

1963年京都府生まれ。古陶磁に魅せられ土や石、釉薬の研究を行う。その後、李朝・桃山時代の古陶磁を手本として独学で焼き物を作り始める。2007年より明日香村在住。2010年穴窯を築窯、窯名は「李渓窯」。2016年倒炎式薪窯を築窯。各地で個展を中心に活動を行う。



左から《 ピーターのいたずら 》、《 おやすみなさい 》

陶芸

谷口 美佐子

TANIGUCHI Misako

1947年奈良市生まれ。1984年ロマンドール講師資格認定。橿原市八木西口駅前にて教室開講。1988年～1998年橿原市公民館にて教室開講、以降OB会として8年間実施。橿原文化会館にて作品展開催。橿原市内の幼小中学校にて講習開催。講師育成にも尽力。梅田阪急、西宮阪急、阪神百貨店にて即売会開催。橿原市展にて各賞受賞。ロマンドール師範、アーティシャン、ジュエリー講師。



《 金彩シルクロード唐草文華壷 》

陶芸

脇田 宗孝

WAKITA Munetaka

1942年生まれ。タイルデザイナーを経て、祖父の地・明日香村に「飛鳥赫窯」を開窯。個展（近鉄百貨店・アベノハルカス開店記念展など）、公募展に出品・受賞。また、古代窯業（巨大埴輪・奈良三彩・塼仏・古代ガラス玉など）の研究論文・復元製作をおこなう。著書に『世界やきもの紀行』・『陶彩逍遥』・『陶の語り部』。京都市立芸術大学非常勤講師・放送大学客員教授を経て、現在、奈良教育大学名誉教授。



《 瓶子 》

ガラス造形

小田 珠生

ODA Tamao

1971年千葉県生まれ。1992年多摩美術大学入学。1996年富山ガラス造形研究所（富山県）入学。1997～2002年ないろKAN硝子工房（富山県朝日町）にスタッフとして勤務。2008年より明日香村在住。2009年夫と自家焙煎珈琲店、珈琲「さんぽ」（明日香村・岡）を開店。2014年珈琲店の隣に個人工房、硝子工房「さんぽ」をオープン。



《 フロアランプ 》



《 吹きガラスの器 》

ガラス造形

髙橋　直樹

TAKAHASHI Nawoki

1951年東京都生まれ。日本大学理工学部卒業。10年間岩津硝子桜井工場にて吹きガラス職人として勤務。1983年より明日香村在住（明日香むらの吹きガラス工房立ち上げ）。1984年東急ハンズ大賞デザイン賞、1985年世界ガラス会議コンテスト第3位入賞、西部アトリエヌーボー・コンペ西武美術館長賞他を受賞。フランス、ドイツ、アメリカ、中国他、毎年全国各地で個展を開催。



左から《 ごんぎつね　その壱 》、《 ごんぎつね　その弐 》

ガラス造形

安田　麻里

YASUDA Mari

1957年生まれ。京都市立芸術大学大学院彫刻科修了。現代彫刻の制作活動後、ガラスを主な素材として制作を始める。1992年明日香村に工房「MARIGLASS」を設立。「国際ガラス展金沢」、「日本現代ガラス展」、「日本のガラス展」等に出品。現在、自宅工房とリサイクル館かしはらで教室を主宰。日本ガラス工芸協会員。



左から《 能面　翁 》、《 能面　若女 》

面彫

島田　清

SHIMADA Kiyoshi

1944年明日香村生まれ。建築業を営むかたわら、1975年おもての会入会。北澤三次郎氏のもとで、能面打ちを始める。1976年大阪芸術センター主催の作品展に出品。1985年おもての会を退会。2010年京都市芸術館「能面展」、2012年奈良文化会館「能面展」に出品。2014年東京国立博物館「飛鳥ーキトラ2016ー」に天狗面、お多福面を出品。

左から《 ウクレレ／プリンセス・カイウラニ 》、《 アコースティックギター　232FC 》

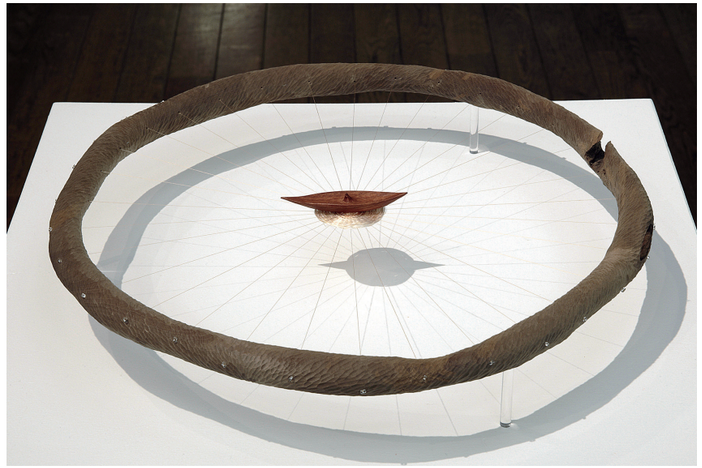


ギター製作

折坂　諭

ORISAKA Satoshi

1967年兵庫県生まれ。関西学院大学文学部卒業、神戸大学経済学研究科中退。楽器商社で主に企画業務に携わる。2012年より明日香村在住。ギター・ウクレレ製作工房「明日香弦楽器」を設立。手作りの製作技法を基本に、飛鳥・天平期の美術を取り込んだ楽器を作り出している。



《 方位 》

彫刻

熊田 悠夢

KUMADA Yumu

1992年島根県出雲市生まれ、京都育ち。2017年京都市立芸術大学大学院修士課程工芸専攻漆工修了。修了と同時に明日香村に移住し、木彫作家として造形活動をおこなう。ひとを包み生かしてくれる、やわらかな風景にかたちを持たせ、その存在を讃えるために表現を続けている。主に木や漆を素材としてオブジェ、装置、アクセサリーを制作。子どもから大人まで、無垢の木にふれる機会をと、木工のワークショップなども企画している。

写真

上田　由美子

UEDA Yumiko

1947年和歌山県生まれ。1972年結婚を機に奈良県に移り、小学校教諭として勤務。1980年より明日香村在住。退職後写真に興味を持ち、明日香に残る原風景や伝統行事などを撮影する。「明日香路を写そう写真コンクール」入選、「教職員展写真の部」等で入賞。

左から《 夜明け 》、《 夕映え 》



写真

上山　好庸

UEYAMA Yoshinobu

1950年明日香村生まれ。奈良新聞社を経て1986年フリーランスに。出版社等の取材撮影を行う傍ら、ライフワークとして大和路、主に飛鳥の撮影を続ける。著書に「万葉・明日香路」（光村推古書院）、別冊・太陽「飛鳥」（平凡社）など。近鉄文化サロン奈良講師、(公社)日本写真家協会（JPS）会員。

左から《 静謐 》、《 紫閃 》





《 明日香春秋 》

写真

梅田　耕吉

UMEDA Kokichi

1934年奈良県下市町生まれ。奈良学芸大学（現:奈良教育大学）卒業後、小学校教諭となる。在職中、視聴覚教育・放送教育の研究に携わり、文部大臣賞、県教育選奨を受賞。1993年より明日香村在住。現在に至る。「奈良県高齢者写真コンクール」、「明日香路を写そう写真コンクール」等で入賞多数。2007年奈良市写真美術館にて個展「吉野川・千石橋」を開催。現在、明日香村文化協会代表理事。



左から《 甘橿の丘への道 》、《 夕照の桜 》

写真

岡本　路子

OKAMOTO Michiko

1947年生まれ。京都衣笠で育ち、奈良へ転居。1972年より明日香村在住。
石舞台、明日香川の四季の詩（うた）を撮り続けている。第26回「明日香路を
写そう写真コンクール」に「凋落」（ちょうらく）で特選、同コンクール入選4回。
天理写真展で長岳寺賞主賞受賞。現在、明日香村文化協会常任理事。



左から《 凛 》、《 悠 》

写真

島田 真希

SHIMADA Maki

明日香村出身。大阪芸術大学芸術学部写真学科在学中、アジアの
国々へ訪れるうちに暮らしの中に存在する宗教、文化、そして人間に
惹かれ、特にインドネシアのバリ島に魅了される。大学卒業と同時に、
フォトグラファーとして約3年バリ島へ移住。帰国後、作品制作を行い
ながら人物撮影を中心に活動中。現在、東京在住。



左から《 女綱夕景 》、《 古の夕暮れ 》

写真

白水　泉

SHIROUZU Izumi

1952年生まれ。明日香村在住。2003年～2006年「道の日フォトコンテスト」入選、2007年福岡県知事賞、2010年「太宰府古都の光写真コンテスト」太宰府市賞、2011年太宰府観光協会賞、2014年・2015年・2017年「竹内街道・横大路デジタルフォトコンテスト」入選、2018年特別賞、2016年・2017年「明日香路を写そう写真コンクール」入選、2015年～2018年「国営飛鳥歴史公園ハガキフォトコンテスト」最優秀賞など多数受賞。

《 親子 》



写真

森本　富雄

MORIMOTO Tomio

1944年大阪府大阪市生まれ。1968年より明日香村在住。1978年写真家・入江泰吉氏に師事。朝日新聞社国際写真サロン、奈良県展、オリエンタルスポーツ写真、三菱月光、富士フイルム、ニコン等で多数受賞。奈良県文化会館「日記帳」、大阪ミノルタ「飛鳥夢幻」、ニコンサロンbis大阪「私景飛鳥」「水都大阪・今」、大阪府近つ飛鳥博物館「遠つ飛鳥」等の写真展を開催。

《 飛鳥秋景 》



写真

柳　敏明

YANAGI Toshiaki

1949年奈良県下市町生まれ。1981年より明日香村在住。2002年「明日香路を写そう写真コンクール」入賞以来、5年連続入賞等。2013年、2014年同コンクールで明日香路賞を2年連続で受賞。その他、全日本写真連盟「なら写真展」入選、「全日本動物写真コンテスト」入選など受賞多数。全日本写真連盟奈良県本部委員。

左から《 軌跡 》、《 冬景奥明日香 》





《打月》

書

稲垣　小燕

INAGAKI Shoen

1947年大阪府生まれ。1966年川崎白雲氏に師事。毎日書道展大字書部毎日賞、書道芸術院漢字部準大賞など多数受賞。心斎橋豊田ビルイベントフロア、在ポーランド日本国大使館広報文化センター、ワルシャワ大学日本祭において個展を開催。現在、毎日書道展大字書部審査会員、（公財）書道芸術院理事、漢字部審査会員、玄遠社副会長、（公社）全日本書道連盟正会員、燕京書道交流会副理事長、高野山書道協会理事、明日香村文化協会常任理事、（一社団）小燕会理事長。



左から《 據千字文 》、《 鳴鳳在樹　白駒食場 》

書（篆刻）

境山　正甫

KYOUYAMA Masamoto

1940年橿原市生まれ。1963年奈良教育大学卒業後、奈良県の公立学校の教員となる。2001年退職後、香芝市教育委員会学校教育課指導主事を務める。2003年篆刻家喜多芳邑氏に師事し、篆刻をはじめる。日本篆刻家協会委員、日本書芸院一科員、明日香村文化協会顧問。



《 万葉歌 》

書

鈴木　葩光

SUZUKI Hakou

1939年大阪府生まれ。橋本芳邨氏、藤岡九波氏に師事。日本書芸院、日展、毎日展などで多数受賞。1971年丸善美術にて作品を常設、フリー万葉作家となる。二人展（京都・橋屋ギャラリー）、日本の秀作美術展（ニューヨーク）、日仏美術展、書家50周年・60周年記念個展「飛鳥とともに」（関西大学）など次々と作品を発表。これまで茨城大学、奈良芸術短期大学で非常勤講師を務める。

書

中井　功子

NAKAI Noriko

1955年明日香村生まれ。西橋香峰氏、池田毓仁氏に師事。日本書芸院・二科審査員。読売書法展・会友。2013年「奈良県美術展覧会」にて奈良県議会議長賞、奈良県教育委員会賞を受賞。

左から《 岑参の詩 》、《 智永　臨　真草千字文 》





左から　《 野の詩（旅立ち） 》、《 麦秋 》

紙画

中川　愛子

NAKAGAWA Aiko

1932年大和高田市生まれ。1984年万葉紙画集を出版。1986年NHKのテレビ番組「紙画で画く大和」で作品が紹介される。1986年「万葉紙画集原画展」（橿原文化会館）、1990年「秋の秀作美術展」（ニューヨーク）に出展。1991年「ミレー展」（フランス）にてフォンテーヌ・ブロー市長賞受賞。その他、仏・伊・米・韓・台等にて受賞多数。現在、ミレー友好協会日本支局委員、まほろば紙画教室を主宰。



左から《 飛鳥Ⅰ 》、《 飛鳥Ⅱ 》

切り絵

森脇　新一郎

MORIWAKI Shinichiro

1952年奈良県吉野郡大淀町生まれ。慶應義塾大学中退。2002年～2012年個展「白と黒の世界」。2013年～現在「春の四季の会展」やまと郡山城ホール。現在、新協美術会会員。



《 NOSIMONYOU（熨斗文様）》

パッチワークキルト

島田 壽子

SHIMADA Toshiko

1997年より、本格的にパッチワークキルトを始める。2005年より自宅にてパッチワークキルト教室「Cloth garden」を主宰。世界最大級の米国コンテストにて金賞・銀賞、国内でも多数の受賞歴がある。自宅花壇の草花をモチーフに、ピーシング、アップリケ、キルト、刺繍等の手法を用いた布の世界を表現。国内外へ向けて手仕事の素晴らしさを発信し続けている。









2019.1.20 [SUN]

第5回「飛鳥・音の風景」

明日香村中央公民館 1階ホール

プログラム

ジャズのスタンダードナンバーに加えて、
ポップ、クラシック、日本の楽曲まで
幅広いジャンルをジャズにアレンジして演奏。

「トロイメライ」（ロベルト・シューマン）
「浜辺の歌」（作詩:林古渓、作曲:成田為三）
「村祭」（文部省唱歌）　他





ピアニスト　竹中 真　TAKENAKA Makoto

ピアニスト、作曲家、米国コネチカット州ニューヘブン生れ、京都育ち。国際基督教大学博士課程入学後、ボストンのバークリー音楽大学に留学。最優秀賞にて卒業後、演奏活動を経て日本人初のバークリー音楽大学助教授になり、准教授に昇格。この間マサチューセッツ工科大学、ボストン大学などでも教鞭を執る。米国での教鞭生活を経て、2014年より同志社女子大学にてジャズ・ポピュラー音楽の授業を受け持つ。1000曲以上の幅広いレパートリーがあり、ジャズ、スタンダード、ポップス、クラシックなど多岐にわたっているが、日本や世界の伝統的な民謡や童謡などをジャズ化することが特徴のひとつ。モスクワ音楽院ホール（ロシア）、ブカレスト国立劇場（ルーマニア）、ブダペスト・ヴィガドー・ホール（ハンガリー）などでコンサートを行い、カナダやロシア、日本でも多くの講義も受け持つ。2018年春よりインターネットラジオ「レイディオ・バルーン」（balloon-r.com）で毎週2時間の生放送番組を持ち、週替わりのゲストと様々なジャンルの生演奏を行っている。





ビッグバンド GYAO（ギャオ）

バークリー音楽大学にて学んだ女性サックスプレイヤー清水利香を中心に2001年6月結成。関西を中心に各方面で活躍中のミュージシャン、音楽大学出身者など関西若手プレイヤーらが集結しビッグバンドを結成。レパートリーは「A列車で行こう」「イン・ザ・ムード」というオーセンティックなビッグバンドジャズ曲からロックやファンク、「浜辺の歌」「ふるさと」といった文部省唱歌をジャズ風にアレンジしたものまで幅広い。結成以来「子供たちに本物のジャズを届けたい!」と小中高など学校での公演を数多く開催。舞鶴赤レンガジャズフェスティバルでは最優秀バンドに選ばれる。国宝知恩院三門での東山花灯路イベントや京都府民ホールALTIではビッグバンドと和太鼓のコラボレーションで独自の世界を切り開く。











「飛鳥・音の風景」プロデューサー
「Creative飛鳥・未来への風」実行委員会 実行委員

松岡 剛宏

MATSUOKA Yoshihiro

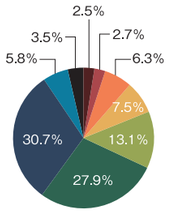
バリトン歌手。1975年奈良県生まれ。大阪音楽大学声楽専攻卒業後、関西歌劇団に入団。その後渡米し、C,Aks氏のもとで研鑽を積む。帰国後、「椿姫」「フィガロの結婚」「ドン・ジョヴァンニ」「賢い女」など、数々のオペラに出演。2002年、R・コルサコフ国際声楽コンクールにて「聴衆特別賞」「ベストロマンスシンガー賞」など4つの賞を受賞。2007年チャイコフスキー国際音楽コンクールの声楽部門にて日本人男性唯一の予選通過者となる。関西学院高等部講師を経て、現在、大阪音楽大学演奏員。明日香村在住。

■『明日香の匠』展に関するアンケート

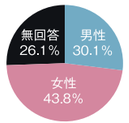
（対象者：『明日香の匠』展来場者2,023 人／回答者 = 602 人）

問１：年齢と性別をお聞かせください。

20歳未満	15人
20代	16人
30代	38人
40代	45人
50代	79人
60代	168人
70代	185人
80代以上	35人
無回答	21人

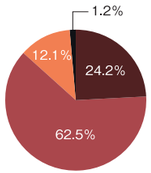


男性	181人
女性	264人
無回答	157人



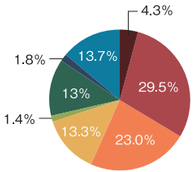
問２：どちらからお越しになりましたか？

村内	146人
村外	376人
県外	73人
無回答	7人



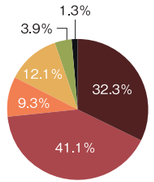
問３：『明日香の匠』展を何でお知りになりましたか？（複数回答あり）

マスコミ報道	28人
出品作家からの案内	191人
友人・知人の紹介	146人
明日香村の広報誌	86人
明日香村のHP	9人
ポスター・チラシ	84人
インターネットサイト	12人
その他	89人



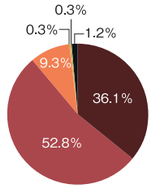
問４：『明日香の匠』展に来られた主な理由をお聞かせください。（複数回答あり）

美術に関心がある	230人
友人・知人が出展	293人
友人・知人に誘われて	66人
偶然	86人
その他	28人
無回答	9人



問５：『明日香の匠』展をご覧になりいかがでしたか？

大変満足	217人
満足	318人
普通	56人
あまり良くなかった	2人
良くなかった	2人
無回答	7人



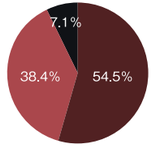
問6：今後どのような作品を見たいですか？

今回の展示作品のジャンル意外に下記の回答を得た。

・映像、液晶絵画、水墨画、竹工芸、織物、現代アート、招待作家のような作品、若い作家の作品、触って動かすことができる作品

問7：明日香村に多くの作家が在住し、創作活動をしていることについてご存知でしたか？

知っていた	328人
知らなかった	231人
無回答	43人

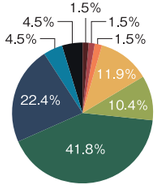


■ 第5回『飛鳥･音の風景』に関するアンケート

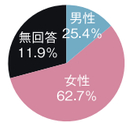
（対象者：『飛鳥・音の風景』来場者210人／回答者= 67人）

問１：年齢と性別をお聞かせください。

10代	1人
20代	1人
30代	1人
40代	8人
50代	7人
60代	28人
70代	15人
80代以上	3人
無回答	3人

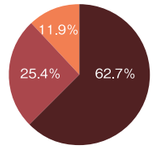


男性	17人
女性	42人
無回答	8人



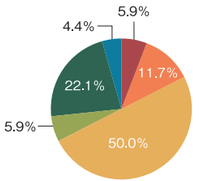
問２：どちらからお越しになりましたか？

村内	42人
村外	17人
県外	8人



問３：『飛鳥・音の風景』を何でお知りになりましたか？（複数回答あり）

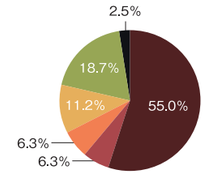
マスコミ	0人
出演者からの案内	4人
友人・知人の案内	8人
明日香村広報誌	34人
明日香村ＨＰ	4人
ポスター・チラシ	15人
インターネットサイト	0人
その他	3人



「その他」の回答内容：中央公民館、ペンション飛鳥

問４：『飛鳥・音の風景』に来られた主な理由をお聞かせください。（複数回答あり）

ジャズが好き	44人
選曲がよい	5人
友人が出演	5人
友人知人に誘われて	9人
その他	15人
無回答	2人

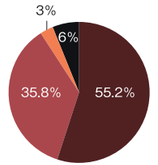


○「その他」の回答内容

音楽が好きだから、SAXを吹いていたから、毎年来ているから、生のジャズ演奏を聞きたいから、凄い演奏をされると知っていたから、近くで生演奏を聴ける貴重な機会だから、ジャズを体験したいから、アルトサックスを買ったから、昔ビッグバンドのメンバーだったから、家族に誘われて

問５：『飛鳥・音の風景』をご覧になりいかがでしたか？

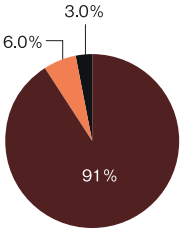
大変満足	37人
満足	24人
普通	2人
あまり良くなかった	0人
良くなかった	0人
無回答	4人



● 感想の回答内容

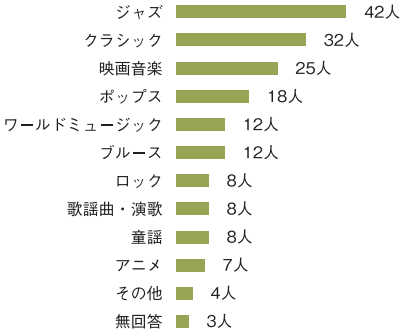
生の演奏は簡単には聞けないので大変よかった、よくモダンJAZZを聞くが、Big bandもいい、迫力があった、代表のMCが愉快だった、演奏者の人柄がとても良かった、大人なサウンドで格好よかった、日常を一瞬でも離れられた、文化力を高められるとても素敵なチャレンジだと思う、本物JAZZはすばらしかった、とにかく楽しかった

問6：次回も来場したいですか？



- 来場する …… 61人
- 来場しない …… 0人
- わからない …… 4人
- 無回答 …… 2人

問7：今後どのようなジャンルを聞きたいですか？（複数回答あり）



●「その他」の回答内容
ラテン系音楽、タンゴ、邦楽、尺八曲、オペラ、ビッグバンド、リクエストコンサート

メディア掲載

2019年02月28日（木） 奈良新聞


絵画や写真など「明日香の匠」展
村の空気漂う60点
村在住の作家ら出展

2019年03月01日（金） 読売新聞


明日香発アート 一堂に
多様な分野 36作家の60点

広報ツールのデザイン



「明日香の匠」展



「飛鳥・音の風景」